平成27年3月期　第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年2月12日

上場会社名　三井倉庫ホールディングス株式会社　上場取引所　東
コード番号　9302　ＵＲＬ　http://www.mitsui-soko.com
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）藤岡　圭
問合せ先責任者　（役職名）財務部長　（氏名）伊藤　正敏　ＴＥＬ　03-6400-8006
四半期報告書提出予定日　平成27年2月12日　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無　：有（証券アナリスト、機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

１．平成27年3月期第3四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年12月31日）

（１）連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	124,311	2.9	4,325	4.5	4,035	35.5	1,629	△58.7
26年3月期第3四半期	120,810	9.3	4,139	△2.4	2,978	△13.0	3,947	－

（注）包括利益 27年3月期第3四半期　3,144百万円（△59.1%）　26年3月期第3四半期　7,680百万円（－%）

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	13.12	－
26年3月期第3四半期	31.78	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	229,511	69,174	28.2
26年3月期	220,728	65,936	28.4

（参考）自己資本　27年3月期第3四半期　64,759百万円　26年3月期　62,618百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	－	4.50	－	4.50	9.00
27年3月期	－	4.50	－		
27年3月期（予想）				4.50	9.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	170,000	5.2	5,500	0.1	4,000	5.1	500	△88.9	4.03

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有

新規　1社　（社名）三井倉庫株式会社、除外　－社

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：有

②　①以外の会計方針の変更　：無

③　会計上の見積りの変更　：無

④　修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期3Q	124,415,013株	26年3月期	124,415,013株
②　期末自己株式数	27年3月期3Q	226,925株	26年3月期	226,131株
③　期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期3Q	124,188,418株	26年3月期3Q	124,191,090株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本発表資料の中で、予想、見通し、目標といった歴史的事実でない数値につきましては、現時点で入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因を前提に算出したものであり、実際の業績は異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、4ページをご参照ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 8
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 10
（継続企業の前提に関する注記） …… 10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 10
（セグメント情報等） …… 10
４．補足情報 …… 12

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安による原材料高が続く中、前年同月比プラスが継続していた鉱工業生産指数が７月よりマイナスに転じるなど、一部に弱さが見られるものの、総じて緩やかな回復基調が続いております。

物流業界におきましては、１～３類倉庫の保管残高は安定的に推移しているものの、回転率は前年同期比マイナス基調が継続するなど、依然、厳しい状況が継続しております。

こうした経済環境の中、当第３四半期連結累計期間の業績は、倉庫事業は運送関連の取扱が前年を下回ったことなどから減収となったものの、農産品等を中心に保管残高が堅調に推移したことなどから増益となりました。港湾運送事業は顧客船社の取扱が航路再編の影響により減少したことから減収減益となりました。グローバルフロー事業は円安による影響や、欧米、北東アジア、東南アジアの各地域における取扱量の増加などから増収増益となりました。グローバルエクスプレス事業は下期において日本を含むアジア地域を中心に取扱が回復したことなどから増収増益となりました。ロジスティクスシステム事業は受託業務の拡大などから増収増益となりました。ＢＰＯ事業は大口のスポット業務取扱などから増収増益となりました。また、不動産事業は減収減益となりました。

これらの結果、連結営業収益は前年同期比35億1百万円増の1,243億11百万円、連結営業利益は同1億85百万円増の43億25百万円、連結経常利益は円安による為替差益等もあり同10億56百万円増の40億35百万円となりました。また、連結四半期純利益は固定資産の売却を行った前期同期に比べ23億17百万円減の16億29百万円となりました。

当第３四半期連結累計期間の業績の推移並びに通期見通し及び前期実績との比較は以下のとおりです。

（当連結累計期間）　（単位：百万円）

	当第３四半期 （３ヶ月累計）	当第３四半期 （９ヶ月累計）	当第４四半期予想 （３ヶ月累計）	通期予想 （平成27年３月期）
営業収益	43,162	124,311	45,688	170,000
営業利益	1,775	4,325	1,174	5,500
経常利益	1,728	4,035	△35	4,000
当期純利益	658	1,629	△1,129	500

（前連結累計期間）　（単位：百万円）

	前第３四半期 （３ヶ月累計）	前第３四半期 （９ヶ月累計）	前第４四半期 （３ヶ月累計）	前通期 （平成26年３月期）
営業収益	41,802	120,810	40,725	161,535
営業利益	1,946	4,139	1,355	5,494
経常利益	1,747	2,978	827	3,806
当期純利益	688	3,947	544	4,491

（前期比較）　（単位：百万円）

	第３四半期 （３ヶ月累計）	第３四半期 （９ヶ月累計）	第４四半期 （３ヶ月累計）	通期
営業収益	1,360	3,501	4,962	8,464
営業利益	△171	185	△180	5
経常利益	△19	1,056	△862	193
当期純利益	△29	△2,317	△1,674	△3,991

（２）財政状態に関する説明

（１)財政状態の変動状況

当第３四半期連結会計期間末の総資産は、資金効率の改善を図り手元資金の圧縮に努める一方、新規施設建設に係る建設仮勘定の増加、時価の回復に伴うその投資有価証券の増加などがあったことから、前連結会計年度末比87億83百万円増加し、2,295億11百万円となりました。

純資産は、当期純利益の計上、その他投資有価証券評価差額金の増加に加え、従来持分法を適用していた子会社に対し追加出資し、連結子会社化したことに伴う少数株主持分の増加もあり、前連結会計年度末より32億37百万円増加し、691億74百万円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第３四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益や減価償却費等による資金留保があったものの、賞与支給や法人税等の支払などにより57億61百万円の収入となり、債権流動化の対象拡大や消費税の還付等があった前年同期と比べ23億65百万円の収入の減少となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、賃貸ビルの修繕に伴う支出や海外における倉庫施設の取得などから98億33百万円の支出となり、有形固定資産の売却があった前年同期に比べ59億4百万円の支出の増加となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払による支出や社債の償還があったものの、長期借入金による収入があったことなどから25億42百万円の収入となり、長期借入金の返済を行った前年同期に比べ222億63百万円の支出の減少となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第３四半期連結会計期間末残高は、前連結会計年度末より22億19百万円減の137億24百万円となりました。

(3) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成25年 ３月期	平成25年12月 第３四半期	平成26年 ３月期	平成26年12月 第３四半期
自己資本比率（%）	23.5	27.4	28.4	28.2
時価ベースの自己資本比率（%）	30.8	27.2	23.2	23.2
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	18.5	10.5	8.1	14.9
インタレスト・カバレッジ・レシオ	4.9	8.5	10.4	7.2

（注） 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

１．各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

２．株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

３．キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息支払額を使用しております。

４．キャッシュ・フロー対有利子負債比率は、キャッシュ・フローを年額に換算するため第３四半期では４/３倍して算出しております。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年３月期（平成26年４月１日～平成27年３月31日）の連結業績予想につきましては、前年同期との比較では堅調に推移しているものの、想定した計画との比較では、ロジスティクスシステム事業において家電製品取扱が想定を下回って推移しており、また、ＢＰＯ事業においても新規業務の取扱いが想定に比べ出遅れていることなどから、平成26年11月４日に公表した通期の連結業績予想を下記のとおり見直しております。

［平成27年3月期 通期（平成26年４月１日～平成27年３月31日）連結業績予想］ （百万円）

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
①前回予想	170,000	7,000	5,700	2,200	17円71銭
②今回予想	170,000	5,500	4,000	500	4円03銭
③増減額 ②－①	0	△1,500	△1,700	△1,700	－
④増減率 ③／①	0.0%	△21.4%	△29.8%	△77.3%	－
参考：前期実績	161,535	5,494	3,806	4,491	36円17銭

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第３四半期連結会計期間より、持株会社体制へ移行したため、当社の倉庫・港湾事業を会社分割により承継した「三井倉庫株式会社」及び、ＢＰＯ事業を会社分割により承継した「三井倉庫ビジネストラスト株式会社」を連結の範囲に含めております。なお、当社は持株会社体制への移行に伴い、平成26年10月１日付で当社の会社名を「三井倉庫株式会社」から「三井倉庫ホールディングス株式会社」に変更しております。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号　平成24年５月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号　平成24年５月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第１四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、計算に用いる割引率を従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第３四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第３四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が355百万円減少し、退職給付に係る資産が683百万円増加するとともに、利益剰余金が585百万円増加しております。また、当第３四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成26年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成26年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,502	14,759
受取手形及び営業未収金	22,091	24,731
その他	7,165	8,744
貸倒引当金	△87	△80
流動資産合計	45,671	48,153
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	61,104	61,210
土地	50,323	50,451
その他（純額）	8,074	12,618
有形固定資産合計	119,502	124,280
無形固定資産		
のれん	22,910	21,525
その他	6,386	6,288
無形固定資産合計	29,296	27,813
投資その他の資産		
投資有価証券	14,466	16,296
その他	12,031	13,191
貸倒引当金	△239	△224
投資その他の資産合計	26,257	29,263
固定資産合計	175,057	181,357
資産合計	220,728	229,511

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成26年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成26年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	14,372	14,083
短期借入金	7,240	15,154
1年内返済予定の長期借入金	14,851	14,525
1年内償還予定の社債	6,000	7,000
未払法人税等	717	597
賞与引当金	1,922	1,213
その他	12,213	13,809
流動負債合計	57,317	66,383
固定負債		
社債	44,000	37,000
長期借入金	37,980	41,019
退職給付に係る負債	4,476	4,230
その他	11,017	11,703
固定負債合計	97,474	93,953
負債合計	154,791	160,337
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,100	11,100
資本剰余金	5,563	5,563
利益剰余金	39,238	40,416
自己株式	△100	△101
株主資本合計	55,801	56,979
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,411	5,653
繰延ヘッジ損益	0	△0
為替換算調整勘定	1,939	1,718
退職給付に係る調整累計額	464	407
その他の包括利益累計額合計	6,816	7,779
少数株主持分	3,318	4,415
純資産合計	65,936	69,174
負債純資産合計	220,728	229,511

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成26年４月１日 至　平成26年12月31日）
営業収益		
倉庫保管料	13,562	14,848
倉庫荷役料	9,937	10,119
港湾作業料	15,939	15,725
運送収入	47,025	47,407
不動産収入	7,910	7,625
その他	26,434	28,584
営業収益合計	120,810	124,311
営業原価		
作業直接費	59,931	60,466
賃借料	9,751	10,504
減価償却費	4,469	4,366
給料及び手当	15,153	16,424
その他	16,434	17,432
営業原価合計	105,739	109,194
営業総利益	15,070	15,117
販売費及び一般管理費		
減価償却費	942	887
報酬及び給料手当	3,674	3,264
のれん償却額	1,357	1,359
その他	4,956	5,280
販売費及び一般管理費合計	10,930	10,792
営業利益	4,139	4,325
営業外収益		
受取利息	68	73
受取配当金	287	295
持分法による投資利益	92	63
為替差益	－	655
その他	422	385
営業外収益合計	871	1,472
営業外費用		
支払利息	991	744
支払手数料	402	355
その他	638	662
営業外費用合計	2,032	1,762
経常利益	2,978	4,035
特別利益		
ゴルフ会員権償還益	－	1
投資有価証券売却益	32	0
固定資産売却益	5,113	－
特別利益合計	5,145	2
特別損失		
固定資産除却損	13	147
投資有価証券評価損	68	63
関係会社事業再編損失	187	－
その他	121	12
特別損失合計	390	223
税金等調整前四半期純利益	7,734	3,814
法人税等	3,526	1,815
少数株主損益調整前四半期純利益	4,207	1,998
少数株主利益	260	369
四半期純利益	3,947	1,629

（四半期連結包括利益計算書）

（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成26年４月１日 至　平成26年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	4,207	1,998
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,549	1,242
繰延ヘッジ損益	△4	△0
為替換算調整勘定	1,639	△148
退職給付に係る調整額	－	△57
持分法適用会社に対する持分相当額	288	110
その他の包括利益合計	3,472	1,146
四半期包括利益	7,680	3,144
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,342	2,592
少数株主に係る四半期包括利益	338	551

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成26年４月１日 至　平成26年12月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	7,734	3,814
減価償却費	5,411	5,254
のれん償却額	1,357	1,359
貸倒引当金の増減額（△は減少）	4	△16
賞与引当金の増減額（△は減少）	△798	△718
退職給付引当金の増減額（△は減少）	115	－
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	－	101
受取利息及び受取配当金	△356	△368
支払利息	991	744
持分法による投資損益（△は益）	△92	△63
有形固定資産売却損益（△は益）	△5,131	△32
有形固定資産除却損	13	36
投資有価証券評価損益（△は益）	68	63
売上債権の増減額（△は増加）	△1,949	△1,881
仕入債務の増減額（△は減少）	2,036	△592
その他	62	△164
小計	9,467	7,536
利息及び配当金の受取額	558	423
利息の支払額	△950	△801
法人税等の支払額	△948	△1,397
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,126	5,761
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△7,454	△8,586
有形固定資産の売却による収入	5,296	45
無形固定資産の取得による支出	△538	△565
投資有価証券の取得による支出	△87	△300
子会社株式の追加取得による支出	－	△154
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	－	400
関係会社出資金の払込による支出	△849	△617
貸付けによる支出	△110	△58
貸付金の回収による収入	83	39
定期預金の預入による支出	△1,850	△39
定期預金の払戻による収入	1,384	78
その他	195	△75
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,929	△9,833
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	34,247	74,726
短期借入金の返済による支出	△33,579	△67,435
長期借入れによる収入	950	13,602
長期借入金の返済による支出	△13,807	△10,890
社債の償還による支出	△6,000	△6,000
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△1,117	△1,117
その他	△413	△342
財務活動によるキャッシュ・フロー	△19,720	2,542
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,255	△689
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△14,268	△2,219
現金及び現金同等物の期首残高	29,577	15,943
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,309	13,724

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　平成25年４月１日　至　平成25年12月31日）

１．報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				
	倉庫事業	港湾運送事業	グローバルフロー事業	グローバルエクスプレス事業	ロジスティクスシステム事業
営業収益					
(1) 外部顧客への営業収益	34,827	11,526	19,482	17,442	24,533
(2) セグメント間の内部収益又は振替高	809	－	84	226	815
計	35,637	11,526	19,566	17,669	25,348
セグメント営業利益（又は営業損失）	1,756	698	337	1,831	433

	報告セグメント		その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	ＢＰＯ事業	不動産事業				
営業収益						
(1) 外部顧客への営業収益	4,873	7,910	214	120,810	－	120,810
(2) セグメント間の内部収益又は振替高	51	451	1,156	3,594	(3,594)	－
計	4,924	8,361	1,370	124,405	(3,594)	120,810
セグメント営業利益（又は営業損失）	49	4,877	(1,316)	8,667	(4,527)	4,139

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない収益を得る事業活動であり、情報システム事業、子会社の金融事業等を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額△4,527百万円は、のれんの償却額△1,357百万円、連結財務諸表提出会社の管理部門に係る費用△3,169百万円であります。

３．セグメント営業利益（又は営業損失）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　平成26年４月１日　至　平成26年12月31日）

１．報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				
	倉庫事業	港湾運送事業	グローバルフロー事業	グローバルエクスプレス事業	ロジスティクスシステム事業
営業収益					
(1) 外部顧客への営業収益	33,859	10,844	23,523	17,932	25,158
(2) セグメント間の内部収益又は振替高	1,707	－	342	241	607
計	35,566	10,844	23,866	18,173	25,765
セグメント営業利益（又は営業損失）	1,883	410	578	1,933	500

	報告セグメント		その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	ＢＰＯ事業	不動産事業				
営業収益						
(1) 外部顧客への営業収益	5,147	7,659	188	124,311	－	124,311
(2) セグメント間の内部収益又は振替高	207	427	1,310	4,844	(4,844)	－
計	5,354	8,086	1,498	129,156	(4,844)	124,311
セグメント営業利益（又は営業損失）	130	4,639	(1,136)	8,939	(4,614)	4,325

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない収益を得る事業活動であり、情報システム事業、子会社の金融事業等を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額△4,614百万円は、のれんの償却額△1,359百万円、連結財務諸表提出会社の管理部門に係る費用△3,254百万円であります。

３．セグメント営業利益（又は営業損失）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントの変更等に関する事項

第１四半期連結会計期間より、「グローバルネットワーク事業」と「国際輸送事業」を合わせて「グローバルフロー事業」として再編するとともに、「航空事業」から「グローバルエクスプレス事業」へ名称変更しております。

なお、前第３四半期連結累計期間のセグメント情報は、会社組織変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

４．補足情報

平成27年３月期　第３四半期決算参考資料

１．経営成績の概要（連結）　（単位：百万円）

	第３四半期（４月１日～12月31日）				通期（４月１日～３月31日）			
	26年３月期	27年３月期	増減		26年３月期 実績	27年３月期 予想	増減	
			金額	率（%）			金額	率（%）
営業収益	120,810	124,311	3,501	2.9%	161,535	170,000	8,464	5.2
営業利益	4,139	4,325	185	4.5%	5,494	5,500	5	0.1
経常利益	2,978	4,035	1,056	35.5%	3,806	4,000	193	5.1
当期純利益	3,947	1,629	△ 2,317	△58.7%	4,491	500	△ 3,991	△ 88.9

２．財政状態（連結）　（単位：百万円）

	26年３月末	26年12月末	増減	
			金額ほか	率（%）
自己資本	62,618	64,759	2,140	3.4
総資産	220,728	229,511	8,783	4.0
自己資本比率	28.4%	28.2%	△0.2ポイント	△0.5
D/Eレシオ	1.76	1.77	0.01	0.8

３．減価償却の状況（連結）　（単位：百万円）

	前年同期	当第３四半期	増減	26年３月期
減価償却費	5,411	5,254	△157	7,259

４．有利子負債残高（連結）　（単位：百万円）

	26年３月末	26年12月末	増減
社債	50,000	44,000	△6,000
借入金	60,073	70,699	10,626
合計	110,073	114,699	4,626
現金及び預金	16,502	14,759	△1,743

５．セグメント情報（連結）

〈営業収益〉 （単位：百万円）

	前年同期 実績	当第３四半期 累計期間実績	27年３月期 予想	26年３月期 実績
倉庫事業	35,637	35,566	49,000	47,176
港湾運送事業	11,526	10,844	14,500	15,372
グローバル フロー事業	19,566	23,866	32,500	26,645
グローバル エクスプレス事業	17,669	18,173	26,500	23,117
ロジスティクス システム事業	25,348	25,765	34,000	34,457
ＢＰＯ事業	4,924	5,354	7,000	6,604
不動産事業	8,361	8,086	10,500	11,050
その他	1,370	1,498	3,000	2,606
合計	124,405	129,156	177,000	167,029
調整額	△3,594	△4,844	△7,000	△5,594
連結損益計算書計上額	120,810	124,311	170,000	161,535

〈営業利益〉 （単位：百万円）

	前年同期 実績	当第３四半期 累計期間実績	27年３月期 予想	26年３月期 実績
倉庫事業	1,756	1,883	2,450	2,131
港湾運送事業	698	410	600	893
グローバル フロー事業	337	578	750	554
グローバル エクスプレス事業	1,831	1,933	2,600	2,061
ロジスティクス システム事業	433	500	550	944
ＢＰＯ事業	49	130	100	66
不動産事業	4,877	4,639	5,850	6,397
その他	△1,316	△1,136	△1,400	△1,623
合計	8,667	8,939	11,500	11,426
調整額	△4,527	△4,614	△6,000	△5,931
連結損益計算書計上額	4,139	4,325	5,500	5,494